

## あわて床屋

北原白秋

春は早うから川辺の葦に、  
蟹が店出し、床屋でござる。

チヨツキン、チヨツキン、チヨツキンナ。

小蟹ぶつぶつ石鹼を溶かし、  
親爺自慢で鋏を鳴らす。

チヨツキン、チヨツキン、チヨツキンナ。

そこへ兎がお客にござる。

どうぞ急いで髪刈っておくれ。

チヨツキン、チヨツキン、チヨツキンナ。

兎ア気がせく、蟹ア慌てるし、  
早く早くと客ア詰めこむし。

チヨツキン、チヨツキン、チヨツキンナ。

邪魔なお耳はびよこびよこするし、  
そこで慌ててチヨンと切りおとす。

チヨツキン、チヨツキン、チヨツキンナ。

兎ア怒るし、蟹ア恥ウかくし、  
為方なくなく穴へと逃げる。

チヨツキン、チヨツキン、チヨツキンナ。

為方なくなく穴へと逃げる。

チヨツキン、チヨツキン、チヨツキンナ。